

南小学校 学校便り

# 「希望の子」

文責：校長

令和6年 4月21日

第1号

## よろしくお願ひいたします

4月から南小学校の校長として勤務することになりました<sup>おおこば としひろ</sup>大木場 俊弘です。

4人の我が子もこの南小学校を卒業しました。保護者OBでもあります。我が子がお世話になったこの南小学校で、今度は校長として勤務できることに大変感謝しております。精一杯努めますので、ご支援、ご協力、ご指導の程よろしくお願ひいたします。

## 令和6年度 南小学校スタート

令和6年度が始まりました。285名の児童のより良い成長を願って、全職員で教育活動に精一杯取り組みます。

### 《児童数》

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	総計
児童数	56	41	56	39	46	47	285

※ 各学年2学級、特別支援学級2学級

### 《学級担任等》

担当等	氏名	担当等	氏名
1年1組担任	斉藤 寿子	1年2組担任	岩切 利恵
2年1組担任	五十嵐 彩恵	2年2組担任	島名 美咲
3年1組担任	平川 康子	3年2組担任	串間 麻衣子
4年1組担任	田尻 順子	4年2組担任	日高 愛椿音
5年1組担任	高口 章子	5年2組担任	児玉 晃太
6年1組担任	長崎 雄史	6年2組担任	日高 貴善
特別支援4組担任	大曲 真也	特別支援5組担任	大曲 真也
外国語科等専科 3～6年	松尾 拓実	特別支援5組副担任	後藤 真澄
体育専科:3～6年	坪田 啓介	音楽専科:3～6年 図工専科:5・6年	今藤 誠一
理科専科:4～6年	馬場田 享子	養護教諭	水野 直美
事務主査	石黒 昇一郎	学校図書館協力員	橋口 はる香
スクールサポートスタッフ	(募集中)	PTA事務	森下 良子
学校用務員(3校兼務)	廣庭 俊次	特別支援教育支援員	深海 里美
	坂元 裕一		芹田 とよ子
自己啓発休業(兵庫教育大学大学院在籍)	大田 千裕		(募集中)
教頭	山口 弘訓	校長	大木場 俊弘

※ スクールサポートスタッフ(1名)と特別支援教育支援員(1名)を現在募集中です。勤務を希望される方がいらっしゃいましたら、小林市教育委員会学校教育課(0984-23-0424)までお願ひします。

～裏面に続きます～

## 南小ホームページを更新しています

4月は始業式に始まって、入学式、初めての給食と、いろいろな教育活動がありました。それらの様子は南小学校のホームページに記しております。

こちらのQRコードをスマホで読み取っていただくと →  
南小学校のホームページを見ることが出来ます。



または、インターネットで「小林市立南小学校」を検索すると、リンクページが南小HP出てきます。 <https://cms.miyazaki-c.ed.jp/1403/>

## 土台となる躰は3つ

教育の土台となる躰は、3つあると言われています。多くの学校や会社でも取り組んでいる躰だと思えます。

その3つとは 「挨拶」 「返事」 「履き物そろえ」<sup>のぶぞう</sup>です。

教育哲学者の森 信三氏は、この躰について、次のように述べています。

しつけの根本は、次の3つの事柄を徹底させれば、それでいちおう親の責任はすむとさえ考えているものです。と申すのも、この3ヶ条さえ完全に身に付きさえすれば、人間としての「軌道」に乗ったとみなして差し支えなかろうと考えていて、これさえ完全にできれば、あとの「しつけ」は順次身に付くのではなかろうかと思うのであります。

第一、必ず朝の挨拶をする子にすること。

第二、親に呼ばれたら必ず「ハイ」とハッキリ返事のできる子にすること。

第三、ハキモノを脱いだら必ずそろえ、席を立ったら必ずイスを入れる子にすること。

以上が躰の三ヶ条でありまして、この3つの躰が真に徹底すれば、もうそれだけで「人間」としての軌道に乗るわけですから、ちょっと考えたら不思議なくらいです。また、第一のこの「挨拶」と第二の「返事」だけで、子どもが親の言うことをよく聞く素直な子になるわけですし、また第三の「ハキモノ」は、人間にしまりをつける最重要なしつけでありまして、これはお金のしまりにも通じるしつけと言えましょう。

なぜこれらの躰が重要かというと、

「挨拶」「返事」は、人とのつき合い方の土台

「履き物そろえ」は、物とのつき合い方の土台になるからと考えられます。

南小学校では、「朝の挨拶」、がよくできる子が多いと思えます。「相手より先に」「聞こえる声で」挨拶をしている子が多いです。

「履き物そろえ」や「椅子を入れる」についても、できている場合が多いです。これは、ご家庭での指導やこれまでの学校教育の成果だと考えます。

ご家庭でも、この3つの躰を今後も意識して指導してくださると有り難いです。学校でもご家庭でも同じ指導をすれば、効果は3倍以上になると思えます。

